

# 2019(令和 1)年度 学校評価

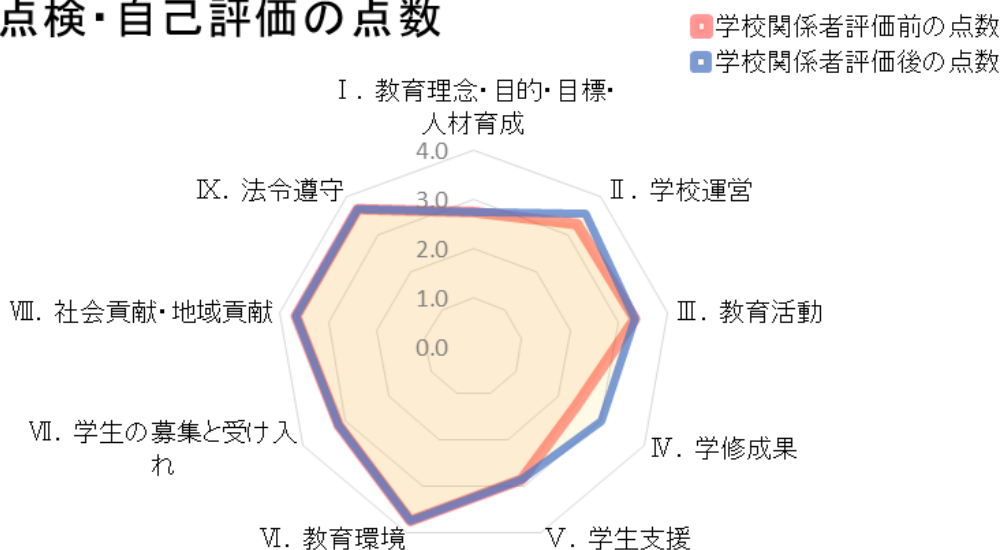


富士吉田市立看護専門学校

本校は、看護に必要な基礎的能力及び態度を修得し、心豊かな人間性で見識を養い、地域や社会に貢献できる人材を育成しています。また、学則第 32 条に基づき教育の充実を図り学校の目的及び社会的使命を達成するため学校における教育活動の状況について自ら点検及び評価しています。

## 【2019 年度 自己点検・自己評価(9 領域・59 項目)】

### 自己点検・自己評価の点数



次は 2019(令和 1)年度の学校評価 重点目標に沿った評価です。

### 【重点目標 1】 2020 年度の入学定員を 90%以上に確保する

学生の確保を目的に、推薦入学の方法を見直し実施した。その内容は、「新たに地域枠推薦を導入する」「指定校推薦の指定する高等学校を増やす」「指定校の推薦枠を見直す」である。また、業者主催の進路相談やガイダンスに参加したり、高等学校の依頼により模擬授業を実施したりした。オープンキャンパスは台風の影響により日程・方法を変更したが、参加者 132 名で昨年度よりも増加した。ミニオープンキャンパスは参加者 26 名であり好評を得た。これらを取り組んだ結果、2020 年度入学生は 45 名であり定員の 90%を確保できた。

## 【重点目標 2】 学業支援の充実を図り、入学生の 80%以上の卒業率を確保する

新たな取り組みとして、学年を超えた学生間の学習支援(以下、異学年の交流学习)を行った。今年度は、上級生である 2・3 年次生が 1 年次生の基礎看護学の技術練習や看護過程の展開に対して学習を支援した。これを通して、上級生は 1 年次生のモデルとなり、上級生は「教えることで自分も学習になった」と振り返り、各々にとって良い学習の機会となった。また、例年と同様に、1 年次から学習の積み上げへの支援や学習強化科目に対する学習支援、国家試験に向けた学習相談、個別の学習支援、試験の点数開示や一次返却による学習の振り返りなどを継続した。その結果、第 109 回看護師国家試験の合格率は、97%(全国 89.2%)であった。また、2017 年度入学生の 3 年間での卒業率は 70.7%であった。

## 【重点目標 3】 DP/CP/AP を明文化し学生や関係者への周知をする

5 月に DP(ディプロマポリシー)を、10 月に CP(カリキュラムポリシー)と AP(アドミッションポリシー)を作成した。それを 11 月に在籍する学生に学習の指針として提示し説明した。また、ホームページで公表した。AP に関しては 2020 年度学校案内及び、2021 年度学生募集要項にも掲載している。

## 【重点目標 4】 高等教育無償化及び給付型奨学金の対象校として認定をとる

9 月に本制度の認定を受けた後、在籍する学生にオリエンテーション(11 月)を行い、対象学生へ必要な手続き等の支援を行った。また、2020 年度入学予定生にも文書で周知した。本制度の認定条件の一つに学校関係者評価の公表があるが、学校関係者評価を準備している。なお、2020 年 4 月に学校関係者評価を実施し 5 月中旬に結果を公表予定である。

### 22 期生 卒業式



## 【その他】 円滑な学校運営を実施する

2019 年度は、総事業費 約 2 億 1,500 万円で学校を運営した。開校から 24 年が経ち建物や各種機器等の経年劣化が進んでいるため、昨年度に引き続き、外壁の改修など施設の修繕や設備の保守に努めた。また、安全で快適な学習環境を目指すため、Wi-Fi 環境の充実、売店運営(委託業者との契約)の継続、教育に必要な備品を購入した。そして、2018 年度に購入したヘルメットを防災訓練で使用している。今年度の卒業者は 33 名である。県内の病院に 30 名、うち富士吉田市立病院へは 12 名(37.5%)が就職し、2 名が地域看護学専攻課程に進学した。また、全学生 116 名のうち 1 年間の退学者は 6 名(6.0%)で、その主な理由は進路変更や学業不振、経済的な問題だった。

なお、学校関係者評価(5 月中旬)、作成した DP、教育活動など、詳細につきましては、ホームページをご覧ください。